

【う め】*下線部は重要防除です。

病害虫防除

4月上中旬	かいよう病	マイコシールド	収穫 21 日前	1,500 倍	66g/水 100 ㍓
	黒星病	ベルコート水和剤	収穫 30 日前	2,000 倍	50g/水 100 ㍓
	アブラムシ類・ケムシ類	マブリック水和剤 20	収穫 21 日前	4,000 倍	25g/水 100 ㍓
4月下旬	かいよう病	マイコシールド	収穫 21 日前	1,500 倍	66g/水 100 ㍓
	黒星病	ストロビードライフロアブル	収穫 7 日前	3,000 倍	33g/水 100 ㍓

摘 果

4月下旬～5月上旬
果実の大きさが大豆程になった頃が適期です。早く仕上げるほど、肥大はよくなります。
樹木の着果量を確認して小玉果や群状結実しているところを摘果しましょう。
特に梅酒用品種は早期大玉果の出荷が高単価につながります。

【キウイフルーツ】

安定した価格で取引されています。高品質な果実生産のため、防除を徹底しましょう。
4月中下旬 花腐細菌病・かいよう病 コサイド 3000 2,000 倍 50g/水 100 ㍓
※薬害軽減のためクレフノン 200 倍 (500g/水 100 ㍓) を加用する。

【温州みかん・中晩柑】*下線部は重要防除です。

病害虫防除

4月上旬
○ミカンハダニ アタックオイル又はハーベストオイル 100 倍 1,000ml/水 100 ㍓
(ハダニ防除は冬季に散布した場合は不要) (3月散布の場合は 80 倍)
4月上中旬 (温州みかん) 新芽が出揃った時期に散布。
○そうか病 イデクリーン水和剤 500 倍 200g/水 100 ㍓
※薬害軽減のためクレフノン 200 倍 (500g/水 100 ㍓) を加用する。
※イデクリーン水和剤はマシン油乳剤との混用および、マシン油乳剤散布後 14 日以内の近接散布は避けてください。
又は、デランフロアブル 30 日前 1,000 倍 100ml/水 100 ㍓

【いちじく】*下線部は重要防除です。

施 肥

4月中旬
春肥 有機配合肥料 100kg/10a (樹勢により調整する)
早すぎると初期生育が良くなりすぎ、節間が長くなり結果数が減り収量の減少につながるので注意する。

病害虫防除

4月
○カミキリムシ類 ガットサイド S 原液塗布 (株元から結果母枝まで塗布) 収穫 7 日前 又は
○アイノキクイムシ 1.5 倍液を主幹部に散布 収穫 7 日前 (1.5 倍散布はアブラムシのみ登録あり)

栽培管理

晩霜・主幹日焼け対策 3月中旬～5月上旬
樹液が動き始める3月中旬頃は晩霜被害が出やすい (特に主枝部分) ので、稲わら等をのせて縛り防寒しましょう。雨に濡れないようビニールで覆うと効果的です。
敷きわら 4月中下旬
降雨の泥跳ねによる病害防止と梅雨明け後の乾燥防止のために、主枝の下に幅 1 m 前後で敷きましょう。

【か き】

病害虫防除

4月下旬～5月上旬
○カイガラムシ類・アザミウマ類 モスピラン顆粒水溶剤 収穫前日 4000 倍 25g/100 ㍓
○落葉病 エムダイファー水和剤 収穫 45 日前 650 倍 153g/100 ㍓

【野 菜】

定植準備

3月下旬より
定植約半月前、苦土タンカルと堆肥を施用し、よく耕耘して野菜苗の定植準備をしましょう。
購入した苗を定植する場合、栽培環境に慣らすためすぐに定植せず 1 週間程度は畑の近くに置いておきましょう。また、定植数日前にマルチをかけ地温を高めておくと根の活着が良くなります。

元 肥

	定植前に施しましょう。1aあたりの使用量	
	ジシアン S 806	ようりん
トマト	13kg	3.5kg
ナス	15kg	2.5kg
キュウリ	15kg	4.0kg

【水 稲】

塩水選

水 10 ㍓に対してうるち種子は 塩 2.15kg、もちは 塩 1.26kg を目安としてください。
浮いたモミを取り除き、底に沈み充実した種モミを種子として使用します。

種子消毒

塗抹処理 (農薬液と種子を一緒に混ぜ、種子に均等に付着させる方法。)

種モミは十分に乾燥させ使用する。薬液量は種モミ重の 3% で、種モミをかき混ぜながら薬液を垂らし付着させる。処理後も薬剤の効力は持続するので、処理後貯蔵することも可能。

(例) 乾燥種子 10k g 薬液 300ml

(テクリードCフロアブル 40ml + スミチオン乳剤 3ml + 水 257ml)

* 種子消毒には浸漬処理もありますが、農薬の廃液が生じない塗抹処理が望ましい。

浸 種

消毒済の種モミは、水切り後自然乾燥 (水洗いはしない) し水道水に浸して催芽 (ハト胸状態) させましょう。
有効な水温は 10℃以上です。目安は水温の積算温度 100℃ (20℃の場合 5 日) です。

播 種・出 芽

播種量: 催芽モミで 150g/箱

育苗土消毒 播種直前 1 箱当たりタチガレエース M 粉剤又はナエファイン粉剤 (6~8g)

+ダコニール粉剤 (15~20g) を土と混合する。

播 種 時 1 箱あたりタチガレエース M 液剤 (1000 倍) +ダコニール 1000 (1000 倍) の
混合液 500ml をかん水し、その後播種する。

育苗肥料: 20g/箱 (育苗土に配合されている場合は必要なし)

温度管理: 積算温度 60~64℃で出芽させる。育苗器の場合、30℃で 2~3 日。

育苗管理

1cm 程度出芽したら、平らに並べ育苗する。

昼間: 20~25℃、夜間 18℃程度で、概ね 7 日間で緑化させる。床土保温のため、箱を広げてすぐの夕方のかん水はせず、急激な温度変化を避けましょう。

【お茶】

施肥 4月 芽出し肥 摘採 20~30 日前に 10aあたり硫安 40kg (2回に分けて行う)

一番茶の摘採

- 本茶の摘採 4~5葉展開を待ち1芯3~4葉を摘みましょう。
刈番茶の摘採 遅れ芽が揃ってから行いましょう。(摘採後7~15日)
一番茶の摘採面で刈る事がポイントです。
一番茶の刈り残し(残してきた1~2節)を絶対にとらないこと。

※摘採後は生葉ムレに注意し、日陰の涼しい所で管理しましょう。

※網掛けの農薬につきましては医療用外劇物となりますので、購入の際には印鑑が必要となります。

☆中井営農経済センターからのお知らせ

① 回覧・注文書の取りまとめについて

- ・バイオリサカミキリスリム・スイコー運搬容器 ・梅干用資材 ・スクミリンゴガイ駆除剤
- ・やまびこ製品 ・丸山製品・省力園芸資材・乾燥機有償点検案内・果樹夏農薬・肥料 注文書

申込締切日：令和4年4月8日(金)までに

- ・中井管内の方は、中井営農経済センター(到着)までお届け下さい。
- ・相和管内の方は、相和支店(到着)までお届け下さい。
- ・下中管内の方は、下中集出荷場(ポスト)・前羽ポスト・下中支店(到着)までお届け下さい。

② 野菜・果樹春農薬、除草剤、水稻肥料・農薬の自己取りについて

- ・下中管内 令和4年4月12日(火)・13日(水) 9:00~11:00まで
- ・中井管内 令和4年4月19日(火)・20日(水) 9:00~11:00まで

③ 野菜苗の自己取りについて

ご予約の野菜苗・しょうが種子の受渡日時は以下のとおりです。ご確認をお願いいたします。

【下中集出荷場】 令和4年4月15日(金) 9:00~11:00まで

【相和支店】 令和4年4月19日(火) 9:00~11:00まで

【井ノ口支店】 令和4年4月20日(水) 9:00~11:00まで

【中井支店】 令和4年4月21日(木) 9:00~11:00まで

- ・コンテナなどの容器をご持参の上、必ずお引き取りをお願い致します。
- ・苗・種子はいかなる場合も数量の変更、キャンセルはできませんのでご承知おきください。
- ・苗の状態に関するお問い合わせは、受け渡し後即日限りとさせていただきます。
- ・さつまいも苗は5月下旬頃、物流センターより配送させていただきます。